

2023年6月1日  
イオン株式会社

～ お客さまとともにイオンの「買物袋持参運動」～  
レジ袋収益金 約4,609万円を地域の環境保全活動に役立てていただきます

イオンは、1991年から「買物袋持参運動」に取り組んでおり、現在は全グループ会社でレジ袋の無料配布を終了しています。2022年度、お客さまにご辞退いただいたレジ袋は約33億枚で、約10万2,500t-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>削減に相当します。販売したレジ袋の収益金<sup>※1</sup>は毎年、全国各地の自治体や団体に寄付し、地域での様々な環境保全活動にお役立ていただいています。2022年度は、約4,609万円を寄付いたします。

イオンはこれからも、お客さまとともに、資源の無駄使いや使い捨てを見直し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

【レジ袋収益金寄付の概要】

対象期間：2022年3月1日～2023年2月28日

寄付金額：4,609万1,675円（2007年からの累計<sup>※2</sup>12億545万7,537円）

寄付先：47都道府県の自治体または団体 約190カ所

※1 レジ袋の販売価格から原価を差し引いた金額

※2 2007年より一部店舗の食品売場でレジ袋無料配布終了をスタートすると同時に収益金寄付を開始

【レジ袋収益金の全国各地での活用事例】



「北海道容器包装の簡素化を進める連絡会」で活用されました。北海道庁やイベント会場、ショッピングモールでプラスチックごみ問題をテーマにした展示会が開催されました。



NPO法人「森は海の恋人」が実施している環境教育で活用されました。海の生物観察のほか、筏の観察、和船「あずさ丸」で漕漕ぎ体験など、地域の森と海の繋がりに関して理解を深めました。



東京都江東区が「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成事業として区の小学生を対象に実施した「カーボンマイナス子どもアクション」で活用されました。



富士山周辺への外来植物の侵入防止対策で活用されました。靴等に付着した種子が五合目以上へ侵入しないよう、富士宮口と須走口の五合目に種子除去マット等が設置されました。



「尼崎市環境基金」から各事業の活動費に充当されています。あまがさき環境オープンカレッジ推進事業「みんなで打ち水！2022」の開催などに役立てていただきました。



交通事故などさまざまな原因でけがをして保護されたヤンバルクイナなどの希少生物の野生復帰に必要なリハビリを行う「ヤンバルクイナ・リハビリセンター」建設費の一部に役立てていただきました。

以上